

## 「世界中の子どもに教育を」キャンペーン 2009 参加校募集：テーマは読み書き（識字）！ 2009 年 4 月 20 日から 26 日開催（この間 1 回の授業）

教育協力 NGO ネットワーク (JNNE) (代表 片山信彦/所在地 東京都新宿区/URL <http://jnne.org/> 以下 JNNE) は、全ての人々が教育を受けられる世界を目指して、途上国の教育支援を日本に広める活動を行っています。そして、2009 年 4 月 20 日から 26 日まで、全国の学校を対象に「世界中の子どもに教育を」キャンペーン 2009～世界の子どもたちと「読み書き」について考えよう！を行ないます。

### 世界同一テーマ・同時期に行なう国際理解教育を小中学校で開催

世界では 5 人に 1 人 (7 億 7,600 万人) の大人が文字を読むことができません。7,500 万人の子どもが学校に通えていません。世界 120 カ国で同時期に行なわれる当キャンペーンの 2009 年のテーマは「識字」。今年 5 月にブラジルで開催されるユネスコ第 6 回国際成人教育会議でも識字は第一の議題になっているほど、全世界で関心が高まっています。また、当企画を推進する GCE が掲げるミッションの 1 つが「識字の改善」でもあります (2P 目参照)。

キャンペーンの目的は、世界の教育課題と解決へ向けた活動を子どもを含む多くの人々に伝え、自分たちにできることの可能性を考えてもらうこと。その方法として、JNNE が作成した教材を参加希望の小中学校に送り、約 30 分の授業を学校で行っていただきます。

このキャンペーンは、ユネスコ、ユニセフの後援のもと、2003 年から毎年 4 月下旬に日本を含む世界中で同時に開催されてきました。昨年日本の参加は 214 校、25,838 名。世界全体では 880 万人の子どもが参加しました。今年は世界の子どもたちがともに「読み書き」について考える一週間となります。



### 教員と NGO の協力による体験型授業

JNNE は、途上国の教育支援に取りくむ NGO が持つノウハウを生かし、ポスター教材と教員の手引きを作成し、参加校へ郵送します。先生は、このポスター教材を活用して授業を進めます。子どもたちは見たことのない文字がついたラベルを見て、どれが薬で毒薬か判断する、という体験を通し、文字を知らない生きていくのが難しいということを自然に知ることとなります。また、同じような困難を抱えた人々が世界にはどのくらい存在し、その背景には何があるのかにも注目していきます。子どもたちが体験を通して、世界の識字問題を掘り下げていくことができます。世界では、このような取り組みによって過去 8 年間に 4,000 万人の子どもが学校に通えるようになりました。



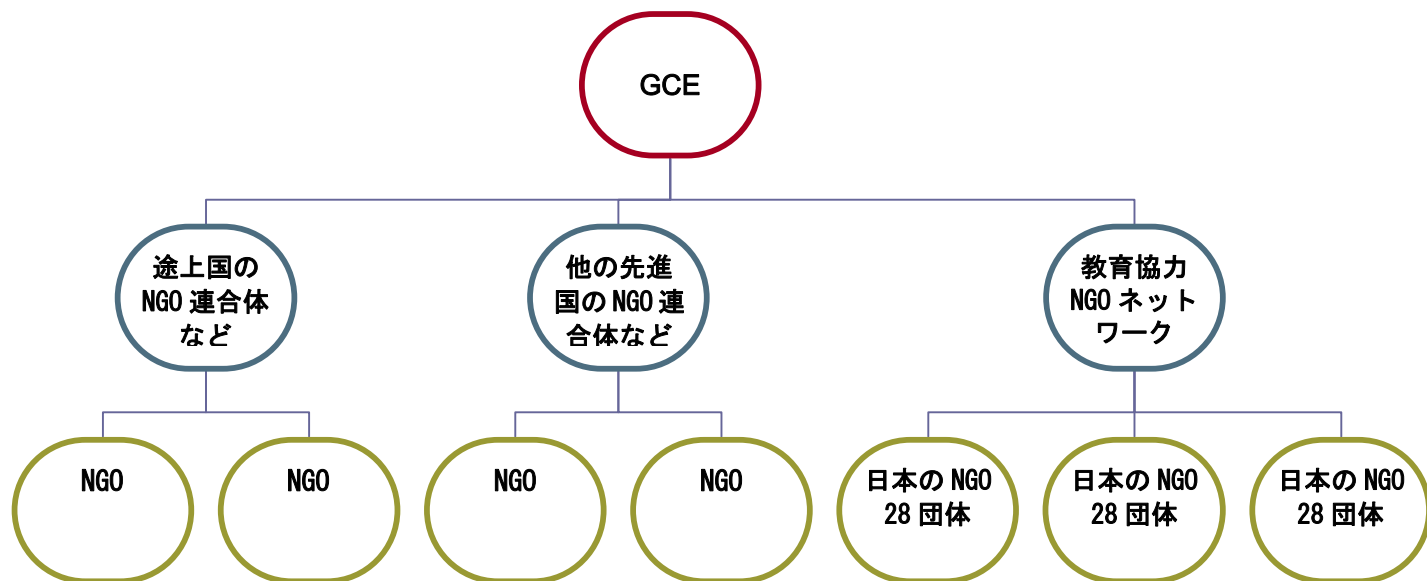
#### -----イベント概要-----

タイトル：「世界の子どもに教育を」キャンペーン 2009	参加費用：無料
後援：文部科学省、外務省、国際協力機構 (JICA) 他	無料教材送付。
日時：2009 年 4 月 20 日 (月)～26 日 (日) の間に 教材を使って 30 分程度の授業を 1 回開催	希望校へ JNNE 参加 NGO の講師派遣 (首都圏)。
参加条件：申込みされた全国の小・中学校、専門学校、 塾、ゼミなどのグループで可能です。	申込方法：指定の申込書にて事務局へ FAX 送付 締め切り：2009 年 4 月 8 日 (水)

#### ■ 当リリースに関するお問い合わせ

世界中の子どもに教育をキャンペーン事務局 担当：伊藤 (いとう)  
所在地：東京都新宿区大京町 31 慈母会館 3F (社) シャンティ国際ボランティア会内  
電話 03-5360-1245 FAX 03-5360-1220  
ホームページ：[www.jnne.org/gce2009](http://www.jnne.org/gce2009) メールアドレス：[gaw2009@hotmail.co.jp](mailto:gaw2009@hotmail.co.jp)

## 「世界中の子どもに教育を」キャンペーン組織図



「世界中の子どもに教育を」キャンペーンは、南アフリカヨハネスブルクに本部がある **Global Campaign for Education (GCE)** を中心に行なっています。GCE は、世界中の様々な市民団体、国際的に教育協力を行う NGO、労働組合などからなる市民連合組織です。世界の教育の現状を伝え、理解してもらい、世界中の全ての人々が質の高い基礎教育を受けることを目指しています。その指標となるのが「万人のための教育(EFA: Education for ALL)」の6つの目標。2000年4月にダカール(セネガル)において、ユネスコ、ユニセフ、国連開発計画、国連人口基金及び世界銀行の主催により開催された「世界教育フォーラム」において設定されました。2015年までに世界中の全ての人たちが基礎教育を受けられる、字が読めるようになる(識字)ための取組みです。

### 万人のための教育 (Education for ALL:EFA)

#### 6つの目標

- 目標 1. 就学前保育・教育の拡大と改善。
- 目標 2. 2015年までに無償で質の高い教育をすべての子どもに保障。
- 目標 3. 青年・成人の学習ニーズの充足。
- 目標 4. 2015年までに成人識字率を50%改善すること。
- 目標 5. 2005年までに初等・中等教育における男女格差を解消し、2015年までに教育における男女平等を達成すること。
- 目標 6. 読み書き、計算能力など教育のあらゆる面における質の向上。

## 「世界中の子どもに教育を」キャンペーン過去のテーマ

- ・2003年 女子の教育についての世界一大きな授業(200万人が参加)ギネス記録
- ・2004年 世界一大きな政治家への働きかけ(250万人が参加)
- ・2005年 「学校へ友だちを送ろう」キャンペーン(500万人が参加)
- ・2006年 「全ての子どもに先生を」キャンペーン(550万人が参加)
- ・2007年 教育の権利をみんなの手に! 「世界一長い人間の鎖」(550万人が参加)
- ・2008年 「世界一大きな授業」(880万人が参加)ギネス記録
- ・2009年 世界の子どもたちと「読み書き」について考えよう!